

津和野町では**農業の担い手**を募集しています

津和野町の農業

津和野町では、多くの農家さんが年間を通して収入を得られるように**複合経営**を行っているのが特徴です。

一般的な**露地野菜・施設野菜**をはじめとして、**山菜、わさび、榎**など様々な品目が栽培されています。みなさんの**好きな品目を組み合わせ**て楽しく農業をしてみませんか？

組み合わせの例

榎	×	山菜
わさび	×	山菜
ミニトマト	×	わさび

就農プランフロー

■(公財)ふるさと島根定住財団の産業体験事業と津和野町農林業研修生支援事業を活用し最大2年間、農家さんのもとで農業の研修を行い就農の進路を選択します。

つわの農業体験プログラム

研修①
3ヶ月～12ヶ月

研修②
最大12ヶ月

自営就農
or
半農半X

研修①

(公財)ふるさと島根定住財団の産業体験事業を活用して、12万円/月の補助を受けながら、農家の元で農業体験を行います。

研修②

津和野町農林業研修生支援事業を活用し、就農に向けた研修を行います。(年間180万円の支援あり)

つわの農業体験プログラムとは？

「農業で生活していきたい！」と考えて、いろいろな情報がインターネットに出てくるけども、実際にやってみるとイメージとは違うもの。農業体験を通して、つわのの人やまちの空気、実際の農作業を五感で感じて下さい！

体験期間・日程は自由！

いつでもオーダーメイドの農業体験ができます！

平日は仕事で忙しい人

土日を利用1泊2日でショート体験

1週間休みが取れる人

たっぷり6泊7日で体験

津和野町で取り組める作物

わさび

かつては東の静岡、西の島根と称された有数のわさび産地です。

自然を利用したわさび田で栽培される根茎わさびは都市部の飲食店からも高い評価を得ている高級品です。

また、ハウスを利用する栽培では短期栽培を実践しており、安定的な収穫が見込めます。津和野町ではリースハウスにより、初期投資を抑えて、わさびに取り組むことができます。



山菜

タラの芽やういを始めとした山菜栽培は、中山間地で冬期に収入が期待できる作物である為、他の品目を組み合わせた複合経営が可能です。

津和野町では、日原タラの芽生産組合に35名の生産者が所属しています。JA出荷を中心とした山菜産地が形成され、市場からの評価も高く、価格も安定している事から新規就農者の方でも販路の心配がなく山菜栽培に取り組むことができます。



榊

津和野町では神事などに使用する榊(さかき)の栽培を行っており、中山間地域の特性を活かした作物となっています。榊は1年を通して安定的な需要がある作物で、収穫時期が決まっていない為、他の品目との複合経営も可能です。津和野町では商人榊生産組合に31人の生産者が所属しています。

JA出荷を中心とした榊産地が形成され、新規就農者の方でも販路の心配がなく榊栽培に取り組むことができます。



栗

つわの栗は県内で大半の収穫量を占めます。

栗生産部会には28名の生産者が登録されています。栗は作業労力が他の作物と比べて少ない為、栗+αの複合経営が見込めます。

「津和野栗再生プロジェクト推進協議会」のもと県外講師による栽培講習会の実施や栗の流通、消費活動等が実施されています。近年、市場や県内外の菓子業者等の需要が高く、今後も高まりは続くと予想されます。



里芋

町内において広く栽培されており、黒く豊かな土壌と寒暖差などの条件が重なり、粘りのあるきめ細かい里芋が育ちます。津和野では、この里芋を使った芋煮が郷土料理として深く根付いています。毎年「芋煮会」が行われ、日本三大芋煮会として全国的にも有名です。

出荷は地元直売所やスーパーで販売されており、新規就農者も取り組み易い作目となっています。



経営モデル(わさび×山菜)

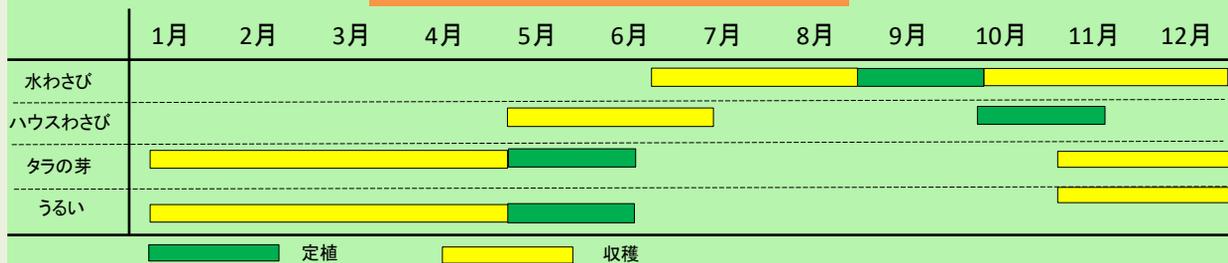
- ・わさびと山菜の複合経営による自営就農モデルです。
- ・年間を通して収入になるよう組み合わせたモデルです。出荷はJAを通じた共販です。

経営作目	わさび、たららの芽、うるい
経営規模	水わさび10a、ハウスわさび3a、たららの芽40a、うるい20a

必要とする機械・施設
ビニールハウス
トラクター
マルチャー
ベンチ
動力噴霧器

	経営開始5年目	備考
農業粗収益(円)	4,541,000	
水わさび	1,962,000	収穫は3年目から
ハウスわさび	715,000	
たららの芽	1,484,000	収穫は2年目から
うるい	380,000	収穫は2年に1回
農業経営費(円)	1,619,000	
農業所得(円)	2,922,000	

年間作業イメージ



経営モデル(山菜×榎)

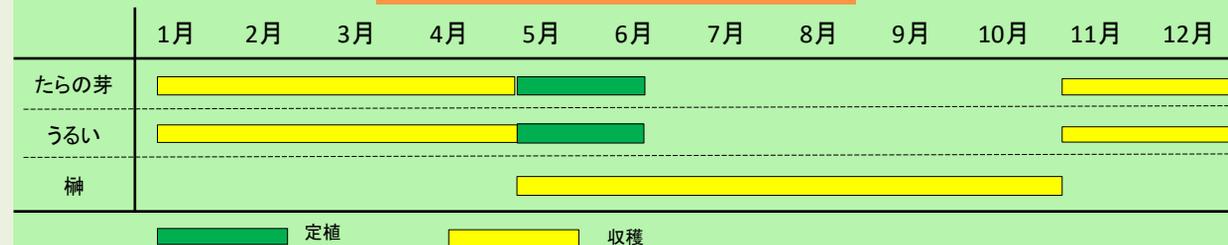
- ・榎と山菜の複合経営による自営就農モデルです。
- ・年間を通して収入になるよう組み合わせたモデルです。出荷はJAを通じた共販です。

経営作目	たららの芽、うるい、榎
経営規模	たら100a、うるい40a、榎30a

必要とする機械・施設
ビニールハウス
トラクター
マルチャー
ベンチ
動力噴霧器

	経営開始5年目	備考
農業粗収益(円)	5,532,000	
たららの芽	3,712,000	収穫は2年目から
うるい	760,000	収穫は2年に1回
榎	1,060,000	収穫までに年数がかかる
農業経営費(円)	2,853,211	
農業所得(円)	2,678,789	

年間作業イメージ



※経営モデルについて

- ・就農5年後のモデルであり、所得を保障するものではありません。
- ・農業経営においては、天候等の気象条件や経営者の技術レベルによりこれらの値は変わります。

移住・就農支援

研修・就農補助金

研修時(3ヶ月～2年)、就農後(最大5年)に必要な経費を助成する制度があります。

- ・産業体験事業+町農林業研修生支援事業
-研修中 180万/年 最大2年間
- ・新規就農者経営発展支援事業
-就農後 各種の補助金あり

農地

研修中や雇用で働きながら、地域の空き農地を探します。農業委員会と協力して出来るだけ条件の良い農地を探します。

施設・機械

就農時に必要な農機具・施設等の初期投資を補助する支援制度があります。

また、タイミング次第でハウスを借りられることもあります。

- ・自営就農開始支援事業
-施設整備等費用の1/3助成

住居

空き屋バンク登録物件の紹介、移住後の住宅確保をサポートします。改修費などの支援制度があります。

- ・空き家改修費の1/2助成
(補助上限50万円)

子育て支援制度

- ・保育料負担軽減措置
-第2子は半額
第3子以降は無料
- ・児童医療費助成
-中学卒業まで無料

周辺環境

【生活インフラ】

- ・各地域に公立小中学校あり
- ・町内に総合病院あり

【アクセス】

- ・福岡市街まで車で180分
- ・大阪まで夜行バスで540分
- ・東京まで飛行機で90分

※支援事業は一例を記載

交流について

つわの百姓塾

津和野町ではベテラン農家が自分たちの農業技術や知恵を若い生産者の方に受け継いで欲しいという想いから、年に4回「つわの百姓塾」を開催しています。「つわの百姓塾」では主に近年Uターンで新規就農された方が参加し、勉強会をした後にアルコールを交えて交流会を行っております。平成24年からスタートしこれまで25回以上開催され毎回30～50名の参加者がおり、Uターン者同士の情報交換の場となっています。



求める人物像

- ・津和野町に移住し、本気で就農を目指す方
- ・家族などの周りの方の理解・協力を得られる方
- ・地域活動に積極的に参加する方



石見ツッコ

ご要望・ご相談はこちらまで

問合せ先：津和野町担い手支援センター

TEL0856-72-0653